

【第50期初級陸曹特技課程「准看護師」入校式】

自衛隊札幌病院准看護学院（学院長 本間1佐）は、令和7年4月2日（水）全国から選抜された第50期初級陸曹特技課程「准看護師」入校学生28名（男性16名、女性12名）の入校式を挙行了。入校式には、北部方面総監部から医務官佐藤1佐をはじめとするご来賓のご臨席を賜り、学生を代表して加賀谷士長が決意を込めた力強い声で申告を実施した。

入校にあたり、病院長（森陸将）は、「我々衛生は、かけがえのない仲間の身体や生命を救うことが主任務の一つであり、仲間を大切に思い優しく寄り添うこと、寄り添えるようになること、その為の知識と技術そして強さ、優しさを身につけること、それが諸君の目指すべき方向性です。病に伏す患者に、傷つき倒れる仲間に、どのように寄り添いそして支えていくのか。この准看護学院でその基本となる資質を育んでくれることを心から期待する。」とし、最後に哲学者プラトンの「優しくありなさい。あなたの出会う人は皆、困難な戦いに挑んでいるのだから」という言葉を贈った。

准看護学院長は、「諸官は、輝かしい将来へ羽ばたいていくスタート地点に立った。これから2年間、様々な困難に直面すると思うが、同期学生との絆を大切に一致団結し、切磋琢磨しながら誰一人欠けることなく、皆で難局を乗り越えてほしい。」と式辞を述べ学院長として「学院一丸」「日々前進」の二つを要望した。

入校式を迎えた28名の学生は、式辞等で賜った激励の言葉を心に刻み一致団結して准看護師となるべく教育に臨む。



祝 辞（札幌病院長）



式 辞（准看護学院長）



決意新たに力強い申告



激励の言葉を胸に刻む学生